



平成 17 年 8 月 19 日

各 位

会 社 名 中央化学株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 渡 辺 信
(J A S D A Q ・ コード 7 8 9 5)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理本部長 永 田 修
兼総務部長兼経理部長
電 話 0 4 8 - 5 4 0 - 2 6 2 4

固定資産の減損会計の早期適用による 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 17 年 7 月 29 日開催の取締役会において、「固定資産の減損に係る会計基準」を平成 17 年 12 月期中間決算より早期適用することを決議いたしました。これによる特別損失の発生と、最近の業績の動向を踏まえ、平成 17 年 2 月 18 日に公表しました通期業績予想を下記の通り修正いたしますので、お知らせいたします。

なお、中間業績予想の修正につきましては、平成 17 年 7 月 29 日公表の「固定資産減損会計の早期適用による特別損失の発生及び中間業績予想の修正に関するお知らせ」にて開示しておりますが、中間期の確定実績につきましては、本日発表の、「平成 17 年 12 月期中間決算短信(連結)及び平成 17 年 12 月期個別中間財務諸表の概要」を、ご参照下さい。

記

1. 固定資産の減損に係る会計基準の早期適用による特別損失の発生

当社は、固定資産の減損会計に従い事業用資産の見直しを行い、減損の必要性がある資産については、その損失を早期に処理し財務体質の健全化を図ることが、今後の健全経営に資するものと判断し、当該会計基準を早期適用することといたしました。

減損損失の概要は次の通りであります。

(単位：百万円)

	単 体	連 結
当社が所有する土地(奈良県五條市)	270	270
子会社 中央化学商事株式会社が所有する土地(埼玉県鳩山町)	-	2,360
子会社 重慶中央化学有限公司の生産設備(中国 重慶市)	-	609
子会社資産の減損損失に対する親会社側の損失引当	3,060	-
計	3,330	3,239

重慶中央化学有限公司の生産設備減損については、現状の事業計画から短期間での業績回復と累損解消が見込まれないため、帳簿価額を回収可能額まで減損いたします。

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成 17 年 12 月期連結通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 2 月 18 日発表)	90,000	2,600	800
今 回 修 正 予 想 (B)	90,000	2,600	2,500
増 減 額 (B - A)	-	-	3,300
増 減 率	-	-	-
前 期 (平成 16 年 12 月期) 実績	82,965	1,234	483

(2) 平成 17 年 12 月期単独通期業績予想数値の修正 (平成 17 年 1 月 1 日～平成 17 年 12 月 31 日)
(単位: 百万円、%)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 17 年 2 月 18 日発表)	75,000	2,400	800
今 回 修 正 予 想 (B)	75,000	2,400	2,300
増 減 額 (B - A)	-	-	3,100
増 減 率	-	-	-
前 期 (平成 16 年 12 月期) 実績	71,058	1,329	668

(3) 通期業績予想修正の理由

当社が使用する原材料の価格は、前期に続き高水準で推移しておりますが、昨年来実施している製品価格是正や社内合理化等が概ね順調に進んでおり、売上高・経常利益ともに所期の目標を達成する見通しです。しかしながら当期利益は、上記、固定資産減損会計早期適用による減損損失の計上等により、目標を大きく下回る見込みであります。

なお、配当につきましては、安定的な配当を継続していくことを利益配分の基本方針としており、営業成績そのものは予想通りに推移していることから、平成 17 年 2 月 18 日公表の通り、年間の配当金は 20 円を予定しております。

以 上